

## 平成 28 年度の「礼文島の花いっぱい運動」活動報告



今年は「花いっぱい運動」をより多くの方に伝え協力頂きながら継続していけるよう、栽培地へのポット苗移植やポット作りに積極的に参加者を募り、また栽培地の開花株を増やすため新たな取り組みを行いました。

なお、今年度の活動の一部は一般財団法人セブンイレブン記念財団、地球環境基金の助成を受けて実施しました。

### イベントの実施



8月～9月にはイベントを4回実施し、礼文町民、夏期アルバイト、旅行者、地域おこし協力隊から14名の参加がありました。イベントの際には礼文島における外来植物の問題および現在行っている対策、その対策の一つとして「花いっぱい運動」を行っていることを説明しました。参加者の中には礼文島に多くの外来植物が分布していて、それらが貴重な植物群落に入っていることを知りませんでしたので、在来植物を増やす「花いっぱい運動」により強く関心を持って頂きました。夏期アルバイトや旅行者の中には毎年礼文へ訪れる人が含まれ、来年も参加を希望して下さいました。今シーズンはスキー場ヘコウゾリナ、ミヤマオダマキ、アサギリソウ、シラネニンジン、チシマワレモコウ、キジムシロ、エゾカワラナデシコ、ツリガネニンジン、トウゲブキ、キタノコギリソウ、ハマハタザオ、イワベンケイ、センダイハギ、イブキジャコウソウの合計14種類の在来植物約450株を移植することができました。また新たにコウゾリナ、ミヤマオダマキ、アサギリソウ、シラネニンジン、アキカラマツ、キジムシロ、エゾカワラナデシコの合計7種類の在来植物約500個のポット苗を作りました。

## 礼文高校の学習のサポート



5月に礼文高校1年生の生徒と共にポット苗9種類170株を花壇へ植えました。1年生は地域の植物に関する授業を行っていますが、高校の周囲は可憐な花を咲かせる在来植物は目立ちません。そこで校内の花壇に在来植物を植えて生育の様子を観察できる様にしました。ポット苗を植える際に、まだ花を咲かせない小さな芽を見比べ、種類による違いなどを観察してもらいました。普段見ることの無い故郷の植物に関心を持ってもらえたと思います。

## スキー場の在来植物栽培地



スキー場の栽培地では芽の出始めの頃、元々裸地が広がる場所の土壌を安定させるために初めて植生保護ネットを張りました。草丈が伸びてきた6月からは除草などの作業を始めました。外来植物や高茎草本など在来植物の生育を阻害する植物が少なくなった事と、開花するまでに大きく育った事もあり、昨年よりも開花個体の数が増えました。植生保護ネットを張った場所でも、コガネギク、コウゾリナ、シラネニンジン、ハマハタザオなどの開花個体が少し増えていました。栽培地やその周辺の外来植物や高茎草本の草刈は、昨年まで鎌やハサミで約600㎡を1回刈っていました。今年は刈払い機を使用して約2,400㎡を2回刈払うことができました。在来植物の花が周辺に広がるよう、外来植物や高茎草本を定期的に刈払うことで成長を抑制し続け、在来植物が生育しやすい環境へ変えて行きたいと思えます。